

北海道スマートフードチェーンプロジェクト 事業化戦略会議 2026 の開催について

1. 趣 旨：

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」という。）では、北海道における農業産出額の 2 割を占める十勝地域において、「農業・食品版の Society5.0」の早期実現を加速化させることにより、農畜産物の生産性及び収益の向上を図り、農業・食品産業の競争力強化及び産業振興を通じて地方創生に貢献するため、令和 4 年 3 月から「北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクト」を開始し、令和 6 年 4 月から名称を「北海道スマートフードチェーンプロジェクト」と改め全道展開しています。

この度、本プロジェクトにおける取組み及び研究成果等について皆様方にご紹介するとともに、事業化に向けた戦略等に関して広く議論することを目的に本会議を開催いたします。

2. 開催日時：令和 8 年 3 月 18 日（水） 13:00～17:00

3. 開催場所：STV ホール

北海道札幌市中央区北 1 条西 8 丁目 1 番地 1

4. 参加方法：会場及びオンライン配信

以下参加申し込みフォームからお申し込みください。

URL: <https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/hokkaidosfc2026>

申し込み期限：3 月 16 日（月）12:00

お申し込みは
こちら→



5. 参 加 費：無料

6. 主 催：農研機構

7. 後 援：農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局、北海道、北海道経済連合会、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、十勝農業協同組合連合会、フードバレーとかち推進協議会、国立大学法人北海道国立大学機構（帯広畜産大学）、国立大学法人北海道大学、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、STV 札幌テレビ放送、一般社団法人北海道農業機械工業会

8. 次 第

(1) 開会 13:00

(2) 主催者挨拶 13:00～13:05

農研機構理事長 久間 和生

(3) 来賓挨拶 13:05～13:15

農林水産省北海道農政事務所 所長 小島 吉量
ホクレン農業協同組合連合会 代表理事会長 篠原 末治

(4) 第一部 13:15～14:25

講演 北海道スマートフードチェーンプロジェクトにおける取組みと成果

①北海道スマートフードチェーンプロジェクト

ー農と食に関する開発技術を速やかに社会実装へー 13:15～13:25

農研機構本部 総括執行役 兼 北海道農業研究センター 所長 奈良部 孝

②AI を活用したバレイショ生産・収穫の省力化技術 13:25～13:55

農研機構北海道農業研究センター 寒地畑作研究領域長 辻 博之

③北海道における温暖化対応技術と特徴ある道産生乳生産に向けた取組み

13:55～14:25

農研機構北海道農業研究センター 寒地酪農研究領域長 矢用 健一

～休憩及びポスターセッション～ 14:25～14:55

(5) 第二部 14:55～16:55

特別講演及びパネルディスカッション

1) 特別講演 14:55～15:25

日本農業の未来と北海道農業の重要性

女子栄養大学 栄養学部 教授 中嶋 康博

2) パネルディスカッション 15:30～16:55

変化に対応する技術で築く持続可能な北海道農業の実現

モデレーター：農研機構本部 総括執行役 兼 事業開発部長 田中 健一

パネリスト：女子栄養大学 栄養学部 教授 中嶋 康博

国立大学法人北海道大学大学院 農学研究院 准教授 石井 一暢

鹿追町農業協同組合営農部農産課

フィールドスーパーバイザー 今田 伸二

有限会社西谷内農場 代表取締役、いわみざわ地域 ICT (GNSS 等) 農

業利活用研究会 顧問 西谷内 智治

一般社団法人北海道農業機械工業会 専務理事 竹中 秀行

(6) 閉会挨拶 16:55～17:00

農研機構理事 山田 広明

(7) ポスターセッション 17:00～17:30

9. 事務局(連絡先)

農研機構 北海道農業研究センター 事業化推進室 根本、松崎

Tel. 011-857-9212/9279 e-mail: sh-hokkaido-sfc@naro. go. jp

※内容が変更になることもございますので、予めご了承ください。

※ポスターセッションの配信は行いません。